

12月は地球温暖化防止月間！ デコ活や松戸市環境未来会議など 松戸の環境施策を市役所で展示

地球温暖化防止月間に合わせ、脱炭素につながる新しい豊かな暮らしを創る国民運動「デコ活」の紹介や、今年度の新たな取り組み「松戸市環境未来会議（無作為に選ばれた市民のうち、参加希望をいただいた方で構成された市民会議）」の様子を展示しています。

また、松戸市では地域環境調査員（松戸市内の市民ボランティア）により観察された野鳥の報告を基に、環境ものさし（※）を用いて環境度を測っています。調査員から寄せられた野鳥等の写真も展示中です。



展示の様子

●展示会について

期間 令和5年12月18日（月）～27日（水）※土日を除く
8時30分～17時まで（最終日は16時まで）

場所 松戸市役所本館1階連絡通路

内容 (1) 地球温暖化防止月間について（別紙①）
(2) 「デコ活」を始めましょう！（別紙②）
(3) 松戸市環境未来会議（別紙③）
(4) 地域環境調査における野鳥等の写真展示

市内で観察された鳥



コミミズク

撮影者：村松調査員



ダイサギ

撮影者：小松調査員



チョウゲンボウ

撮影者：伊東調査員

※「環境ものさし」とは、公益財団法人日本鳥類保護連盟が作成した野鳥の生息状況によって環境の状態を測る評価手法です。

【本件に関する問い合わせ先】

〒271-8588 千葉県松戸市根本387-5

松戸市環境部環境政策課

☎047-366-7089 FAX047-366-8114

✉ mckanky@city.matsudo.chiba.jp

12月は地球温暖化防止月間です

概要

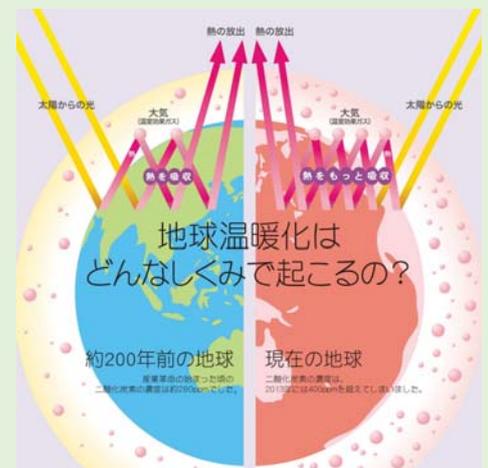
平成9年12月に京都で開催された「気候変動枠組条約第3回締約国会議（COP3）」を契機として、翌年の平成10年度から現在に至るまで、12月を「地球温暖化防止月間」と定めています。

この機会に市民・事業者・行政の各主体が一体となって地球温暖化問題を見直し、改めてその重要さを認識していただき、地球温暖化防止に向けた国民運動の発展を図ることとしています。

地球温暖化の仕組み

地球は太陽からの光によって暖められ、地表面から熱が放出されています。本来その熱は、宇宙へ放出されることとなりますが、大気中の**温室効果ガス**がその熱を吸収して宇宙へ放出せずに大気を暖めています。もしこの温室効果ガスが存在しなかったら、世界の平均気温は**-19℃**になると言われていて、実は温室効果ガスそれ自体は、生物が活動するためには必要不可欠な存在です。

今から200年ほど前から産業活動が活発になり、石炭や石油等の化石燃料を燃焼していくことで物を作ったり自動車を動かしたり便利な世の中になっていきました。化石燃料の燃焼に伴い、二酸化炭素やメタン等の温室効果ガスが大量に排出され、熱の吸収が増えて気温が上昇していき始めました。



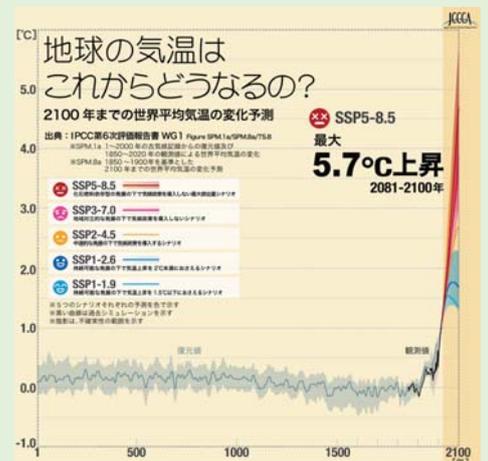
出典：全国地球温暖化防止活動推進センター

世界平均気温の将来予測

気候変動に関する政府間パネル（IPCC）の第6次報告書では、5つのシナリオを想定して気温の将来予測を行っています。

21世紀半ばに二酸化炭素排出量を実質ゼロ達成とする最善シナリオ（SSP1-1.9）では、世界の平均気温上昇を今世紀末までに**1.5℃以下**に抑えることができるとされています。

反対に化石燃料依存型の発展の下で気候政策を導入しない最大排出量シナリオ（SSP5-8.5）においては、今世紀末までに**3.3～5.7℃**の昇温を予測しています。



出典：全国地球温暖化防止活動推進センター

地球温暖化による影響

・ 農作物への影響

気温上昇により、米の収穫量の減少や米が白く濁り品質が低下することが報告されています。

また果実においては、高温や直射日光による日焼けにより果肉が変質し商品価値が低下することが懸念されています。



全国地球温暖化防止活動推進センターウェブサイトより

・ 健康への影響

地球温暖化に伴う気温上昇により、真夏日（最高気温が30°C以上の日）や猛暑日（最高気温が35°C以上の日）が増加するとされています。特に猛暑日の増加は、熱中症のリスクが高まるため、暑さによる体調不良が心配されます。

・ 生態系の変化

地球温暖化により海水温が高くなると、サンゴが白化し死滅するおそれがあるほか、海氷が溶けだしホッキョクグマが絶滅するおそれが出ています。

また、気温が上昇することによりサクラの開花時期が変化するおそれがあるといわれています。将来、お花見の時期が早まるかもしれません。



全国地球温暖化防止活動推進センターウェブサイトより

その他にも、豪雨の増加や海面上昇、干ばつの発生等地球温暖化に伴う気候変動の様々な影響が懸念されています。

ゼロカーボンシティ宣言

日本では、この最善シナリオを達成するため、**2050年カーボンニュートラル宣言**を行いました。この宣言では、省エネルギーをしつつ太陽光発電や風力発電等の再生可能エネルギーを最大限に導入することで、石炭火力発電からの転換を図ることを掲げています。

カーボンニュートラル宣言に追随するように、**松戸市**も令和4年3月に**ゼロカーボンシティ宣言**を行い、脱炭素社会の実現に向けて取り組んでいます。

令和5年9月29日時点で、全国でゼロカーボンシティ宣言を行っている自治体は991あり、松戸市は587番目に宣言しています。



わたしたちにできること

地球温暖化を防止するため、日常生活における省エネルギー等今できることから始めていきましょう。特に冬季は暖房の使用等によりエネルギーの使用が増える時期です。**重ね着をする・エアコンの風向を下向きにする等の省エネ行動**を行きましょう。

また、契約している電気を再生可能エネルギー由来の電気に切り替える・自宅や事業所に太陽光発電設備を導入する等の**再エネ利用**も地球温暖化防止に非常に有効です。



出典：環境省資料

皆様のご協力をお願いいたします。

デコ活（Decarbonization CO2 生活/活動）とは？

2050年カーボンニュートラル及び2030年度削減目標の実現に向けて、国民・消費者の行動変容、ライフスタイルの変革を強力に後押しするため、新しい国民運動「デコ活」を展開中です。

脱炭素につながる将来の豊かな暮らしの全体像・絵姿をご紹介しますとともに、国・自治体・企業・団体等で共に、国民・消費者の新しい暮らしを後押しします。



デコ活宣言をしましょう！

デコ活宣言とは、以下の①、②のいずれかまたは両方を取り組むことを宣言するものです。

① 脱炭素につながる製品、サービス、取組展開を通じて国民の彩り豊かな暮らし（デコ活）を後押しします！

② 日々の生活・仕事の中で、デコ活（脱炭素につながる豊かな暮らし）を実践します！

デコ活宣言は、個人・企業/団体どちらも可能です。環境省ホームページから宣言ができますので以下のQRコードから宣言しましょう！



松戸市



環境未来 会議



開催中

詳しくはホーム
ページをご覧ください。

